

平成30年度事業計画

○30年度事業計画にあたっての基本的な観点

- 1 県民、教職員への「大学コンソーシアムとちぎ」の認知度の向上を目指す
- 2 学生に重点を置いた施策の展開継続
単位互換の推進と学生活動や学生主体の地域活動など学生を対象とした事業への支援
- 3 産学官連携の推進
- 4 グローバル人材育成事業の発展的継続

1. 事務局

(1) 理事会等の開催予定

- | | | |
|-----|-----|--------------|
| 30年 | 5月 | 第1回常任委員会開催 |
| | 6月 | 第1回理事会開催 |
| | 8月 | 第2回常任委員会開催 |
| | 10月 | 学長懇談会開催 |
| | | 栃木県知事との懇談会開催 |
| 31年 | 2月 | 第3回常任委員会開催 |
| | 3月 | 第2回理事会開催 |

(2) グローバル人材育成事業の実施

- ①「グローバル人材育成プログラム」共通科目の開講
 - ②海外留学、海外インターンシップへの支援
- (3) 留学生への栃木県立文化施設無料入館制度の実施継続

2. 大学間連携事業委員会

- (1) 大学コンソーシアムとちぎ連携講座の実施
 - ①オリジナル授業科目の支援及び新規開拓の推進
 - ②連携講座の推進
- (2) 学生生活活動支援事業
- (3) 大学を超えた共同研究への支援
- (4) 必要に応じグローバル人材育成WGを開催

3. 地域連携事業委員会

- (1) とちぎ学（地域学）の推進
 - ①「とちぎ学」の普及促進活動
(講演・県内公共施設でのパネル展示等)
 - ②作新学院大学における「とちぎ学」講義の実施
(コンソーシアム連携講座に登録・実施)
- (2) 人材育成
経済同友会ボランティアプロフェッサー事業への参加・活用の推進

- (3) 戦略的大学連携支援事業の検討
地域における国公私立大学の共同研究事業と連携事業の検討
- (4) 学生&企業研究発表会開催
(産学官連携サテライトオフィス事業委員会と共催)
 - ① 会場…帝京大学 (連続2年目)
 - ② 実行委員会設置の継続
 - ③ ポスターセッションの発表件数増加策の検討
- (5) とちぎキャンパスネットの発行
(産学官連携サテライトオフィス事業委員会との連携)
 - ① 発行回数…平成29年度と同様、年1回の発行とする
 - ② 配布先、発行時期等…関係する委員会等と引き続き検討していく

4. 産学官連携サテライトオフィス事業委員会

- (1) 企業・団体の相談受付
企業・団体の相談等を受け大学の研究とマッチングを図る
企業・団体の要望に合ったきめ細かい対応を図る
- (2) 企業・団体と大学との共同研究コーディネート
大学の研究成果と企業・団体のニーズを結びつけた共同研究の
コーディネートを推進する
- (3) 第15回学生&企業研究発表会開催 (地域連携事業委員会と共催)
- (4) 産学官金連携推進フォーラム
栃木県工業振興課主催 (旧産学連携推進支援制度説明会)
- (5) とちぎ産業創造プラザのつどい
栃木県産業技術センター、(公財) 栃木県産業振興センター、
(株) とちぎ産業交流センターと共催
- (6) 栃木県内大学・高専・研究シーズ紹介セミナー
宇都宮市 (うつのみや次世代産業イノベーション推進会議) 主催
- (7) とちぎキャンパスネット38号の発行 (地域連携事業委員会の支援)
- (8) 産学官連携サテライトオフィス活用の説明会開催
- (9) 事業委員会、幹事校会議の開催

5. 高大短連携・ESD事業委員会

- (1) 高校生向けパンフレットの作成
- (2) 県内大学進学説明会の開催